

さとう 佐藤かえで

福岡県議会議員 佐藤かえで 県政レポート

かえで たよ
楓の便り

第1号 2026年1月発行

30歳1児の母、福岡県をかえていく！

北九州市小倉南区にお住まいの皆様、こんにちは。自由民主党 福岡県議会議員の「佐藤かえで」です。前任の吉村はるか前県議の意志を引き継ぎ、昨年3月に行われました補欠選挙にて初当選させていただき、県議会議員としての活動も早くも10か月が過ぎようとしています。選挙中には、「女のお前に何ができる」「子育て中の若い女性に務まる仕事じゃない」といった多くの叱咤もいただきました。しかし、いつも私を応援してくださる地域の皆様のお支えがあったからこそ、がむしゃらにここまで走ってこれることができました。ここに心より感謝を申し上げます。年明け、改めて気持ちを引き締め、この小倉南区を「子どもが夢を持ち、若者が希望に満ちあふれ、年長者が安心して暮らせる」そんな地域にするべく、本年も県政にてしっかりと働いてまいります。本年もご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。



佐藤かえでの3つの政策 子どもに夢を、若者に希望を、年長者に安心を。
「親・子・孫」三世代が、安心して暮らせるよう、誠実に県政に取り組んでまいります。



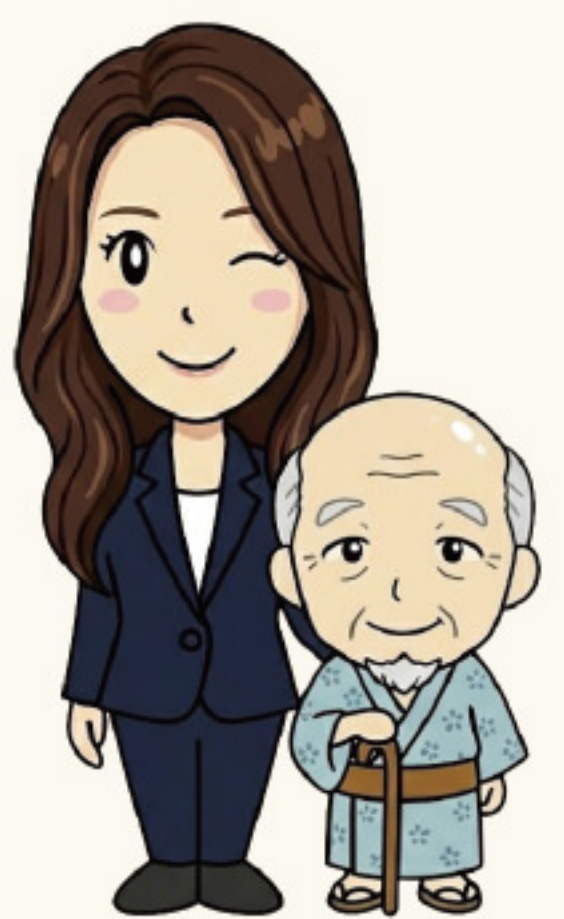
子育てしやすい福岡県を目指して

- 産後ケア体制の充実
- 「二人目を産んでも大丈夫」と感じられる環境づくり
- 保育・教育環境の整備と充実



世界に注目される福岡県へ

- 企業立地の促進
- 若者の働く場の確保
- 技術や技能の継承



笑顔あふれる長寿の福岡県へ

- 事前防災を含む災害対策
- 伝統文化や地域行事の継承
- 地域包括ケアシステムの充実

佐藤かえでは、誰もが子育てしやすい環境づくりを進めると共に、北九州市・小倉南区の強みを活かし、若者が働き、未来を描ける街づくりに取り組んでまいります。また、これまで社会を支えてこられた年長者の皆さまへの感謝を忘れず、親から子へ、子から孫へと受け継がれてきた地域の文化や暮らしを大切に守りながら、皆さまのお声を行政の場に届けることをお約束いたします。



ご報告 このたび、新たな立場と責任をお預かりすることとなりましたので、ご報告いたします。

4月の自民党県議団議員総会において、私、佐藤かえでは自民党県議団入りをお認めいただき、仲間に加えていただきました。40人の先輩方とともに、「融和と結束」のもと、県政のど真ん中でお仕事をさせていただいております。自民党県議団唯一の女性議員として、先輩方からご指導をいただきながら、「女性のリアルな声」を県政へと反映させるべく、ともに汗をかく姿勢で取り組んでまいります。委員会は、「子育て支援」の中核である【厚生労働環境委員会】および【子育て支援・人財育成調査特別委員会】に所属させていただきました。常任委員会である厚生労働環境委員会では、副委員長というお役目もいただき、より一層、福岡県の子育て支援を中心に多くの課題に取り組む所存でございます。また、自由民主党福岡県支部連合会におきましては、「女性局副局長」というお役目もいただきました。県連の中においても、「現代を生きる女性の声」を大切にしながら、県連を通じてさまざまな方法・場所で発信してまいります。



テレビ放送のお知らせ

佐藤かえでの活動がテレビで紹介されます！

放送情報 1月7日(水) 18時台放送予定
TNCテレビ西日本「記者のチカラ」番組内

番組内容は、災害発生等の緊急報道により、放送日時や内容が変更・延期となる場合があります。あらかじめご了承ください。



事務所移転のお知らせ

補欠選挙期間におきましては、前任の吉村はるか前県議の事務所を間借りさせていただいておりましたが、2025年4月に事務所を移転し、「佐藤かえで事務所」を中曽根に構えました。現在、事務所では陳情対応やお悩み相談も行っております。お子様連れでも対応できるよう、プレイルームも完備しておりますので、お気軽にお立ち寄りください。

6月・9月・12月の県議会定例会において、一般質問を行いました。

一般質問：「避難の質」と要配慮者支援について ― 令和7年6月定例会

避難所の「量」だけでなく「質」を重視した運営の必要性を訴えるとともに、スフィア基準を参考にした避難所運営の底上げや、避難行動要支援者をはじめ多様な方への備えの重要性を指摘しました。

- 知事からは、スフィア基準を踏まえた避難所運営マニュアルの改定や優良事例の共有を進めるとともに、関係部局による検討体制のもと、個別避難計画の充実や防災アプリ「まもるくん」の機能拡充を検討するとの答弁がありました。



一般質問：女性活躍推進と管理職を含めた働き方改革について ― 令和7年9月定例会

女性の就業率が高まる一方で、女性管理職の割合は低水準にとどまっています。仕事と家庭を両立できる環境づくりのため、県庁自らが率先して働き方改革と女性活躍を進めるべきと提言しました。

- 知事からは、県職員の女性割合は36.6%、女性管理職は24.5%であり、令和11年度までに40%以上を目指すとの答弁がありました。あわせて、柔軟な働き方の推進や長時間労働の是正、技術職分野における女性登用の強化に取り組んでいく方針が示されました。

一般質問：県の災害対応力の強化について ― 令和7年12月定例会

南海トラフ地震をはじめとする大規模災害が切迫する中、国では防災庁設置に向け、災害対応の司令塔機能を一本化する動きが進められています。そこで、縦割り構造による情報共有や初動対応の遅れを防ぐ観点から、防災庁設置の意義について知事の見解を求めました。あわせて、北九州・京築地域が南海トラフ地震防災対策推進地域に指定されていることや、関門橋・関門トンネルが被災した場合に九州と本州が分断されるリスクを踏まえ、重点的な対策と県の対応方針について質問しました。

- 知事からは、南海トラフ地震防災対策推進地域の市町村に対する計画作成支援や訓練・研修の実施、関門橋・関門トンネルをはじめとした関門エリアの機能不全を想定した九州・山口各県との相互応援協定や自衛隊等との連携強化を進める方針が示されました。さらに、来年度の組織改正で**危機管理課を新設**し、県の司令塔機能を強化するとともに、国の防災庁設置の動きを捉えながら、広域連携訓練や物資・情報システムの強化を進めていくとの答弁がありました。



吉村はるか ご挨拶 自由民主党 福岡県第十選挙区支部長 / 福岡10区(小倉北区・小倉南区・門司区)

佐藤かえで福岡県議会議員は、「子どもに夢を、若者には希望を、年長者には安心を」という私の福岡県議会議員時代のスローガンを受け継ぎ「子育てしやすい街福岡県、世界に注目される福岡県、笑顔あふれる長寿の街福岡県」という目標を掲げ、地域の未来を拓く取り組みを精力的に進めておられます。県民一人ひとりに寄り添い、現場の声を政策に生かすその姿勢には、私も支部長として深く敬意を抱いております。私自身も、福岡を愛する者として、かえで議員が描く未来に共感し、その歩みを心から応援しております。かえで議員の活動が、福岡県と北九州市、そして小倉のさらなる発展につながることを確信しております。これからも皆さまにおかれましても、変わらぬご支援をお願い申し上げます。

県政活動・地域活動

地域の行事に参加したり、陳情を受けて現場視察に向かったりと、日々、小倉南区を数多く回らせていただいています。この小倉南区には、親から子へ、子から孫へと受け継いでいきたい行事や文化がたくさんあります。一人の母として、地域振興に取り組む議員として、これらを大切にし、次の世代へと継承していきたいと考えています。地元自治総連合会の会長は、いつもご挨拶の中で「人を支えるのは人なんだ」とお話しされます。そして、「だからこそ地域のつながりは本当に大切です。議員の皆さんには、できる限り行事に顔を出し、地域とつながりを持って関わってほしい」と教えてくださいました。会長のお言葉どおり、地域のつながりこそが、私たち市民の支えです。いざという時に助けてくれるのは、遠くの誰かではなく、身近な地域の人たちです。そのことを心に深く刻み、これからも地域に根ざした活動を続けてまいります。



地域の絆を育む伝統行事



佐藤かえで 皆様と同じ、私も一人の母親です！よろしくお願いします！

1995年生まれ(30歳)。1児の子を持つママさん議員。和菓子好きで道の駅巡りや漫画・アニメが趣味。国際色豊かな環境で学び、秘書業務を経験後、吉村はるか事務所へ所属。2025年の補欠選挙で当選。自民党福岡県連女性局副局長、厚生労働環境委員会副委員長、子育て支援・人材育成調査特別委員会所属

頑張って作ったごはんよりも、手抜きご飯の方が食いつきが良いのは「子どもあるある」でしょうか？
...そうであってほしい(泣)野菜たべてーっ！

さとう 佐藤かえで後援会

ホームページやSNSはこちら！

〒800-0222 福岡県北九州市小倉南区中曽根5-7-1
TEL:093-383-4280 / FAX:093-383-1397

